

子ども発達学科准教授 南 元子

1. 研究活動

児童学事典「子育てと少子化」	2015. 1	丸善出版	児童学事典の中の「子どもと福祉」について、我が国における子育てと少子化問題について現状を解説した。
「教職実践演習」の授業における附属クリエイティブ幼稚園年中児クラスとの交流について	2015. 3. 31	平成26年度名古屋芸術大学附属クリエイティブ幼稚園研究紀要『保育のまなざし』第3号特別寄稿（依頼）論文 pp. 82-88	名古屋芸術大学人間発達学部4年生の学生対象とした教育実践演習のありかたを、PDCAサイクルという視点から確認した。
日常に潜むドラマで遊ぶ—お散歩を舞台にのせるまで—	2015. 5. 9	第68回日本保育学会発表	愛知県額田郡幸田町の異年齢クラスにおける一年の保育記録を、ドラマ作りの視点から分析した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目名 保育内容の研究「表現」		教職実践演習後、120人の学生を教員でティームティーチングをしたり、個別で行ったり、授業内容に分けてスタイルを変えた。附属幼稚園の子どもたちと交流をはかり、実際の指導案の見直しを行った。生物学の先生を招いて、人生と健康と題して、本格的な性教育を行い、学生から大変な好評だった。
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
前半は幼稚園教育要領を基にした学習を行い、後半の7回において、実践的な指導案の作成と、即興的な劇遊びの展開をグループワークで体験的に学習した。	幼稚園教育要領 実際の保育参加と指導案づくり	
授業科目名 文化創造論		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
絵本「かいじゅうたちのいるところ」を精読し、絵本の仕組みについて理解し、また西欧と日本との育児文化の比較について学んだ。また附属幼稚園の子どもたちと、クリスマスリースをつくる活動を行った。	絵本『かいじゅうたちのいるところ』 『The Wild Things Are』	
授業科目名 幼稚園教育実習(基礎実習・応用実習)		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
授業内容により全体指導を行ったり、少人数指導体制をとるなど、複数教員の利点を生かした展開をした。実習の直前には音楽実技の外部講師をお招きし、一年の総括としては、市の保育行政に携わっている本学卒業生を招聘した。		

授業科目名 表現活動特論・特演（大学院）	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
一つずつのテキストを精読し、それぞれの読みを深めていく。また授業の最後には、まとめとして教育学を専門とする教員をゲストにお招きして理解を深めていった。	一つのテキストを、原書、日本語翻訳本、映画化されたDVDを用意し、比較する。

3. 学会等および社会における主な活動

全国保育士養成協議会保育士試験委員 実技試験採点委員「言語」 (児童福祉法第18条の11第1項に基づく 保育士試験実技試験)	2004. 9～現在に至る	児童福祉法第18条の11第4項に基づく 保育士試験実技試験
全国保育士養成協議会保育士試験委員	2010. 9～現在に至る	実技試験採点委員「言語」愛知県幹事 (保育士試験の標準化を図るための調整 会委員)
幸田町立保育所実践保育研究会	2013～2018. 3まで予定	愛知県保育研究集会発表のためのプロ ジェクトチーム スーパーバイザー
小学校免許更新講座	2016. 8. 25	子どもの変化についての理解
岩倉市生涯学習講座	2016. 10. 11 4回講座	名古屋芸術大学連携「子育て親育ち」 講座パート3
愛知県現任保育士研修	2014. 8 2015. 8	乳児保育専門研修